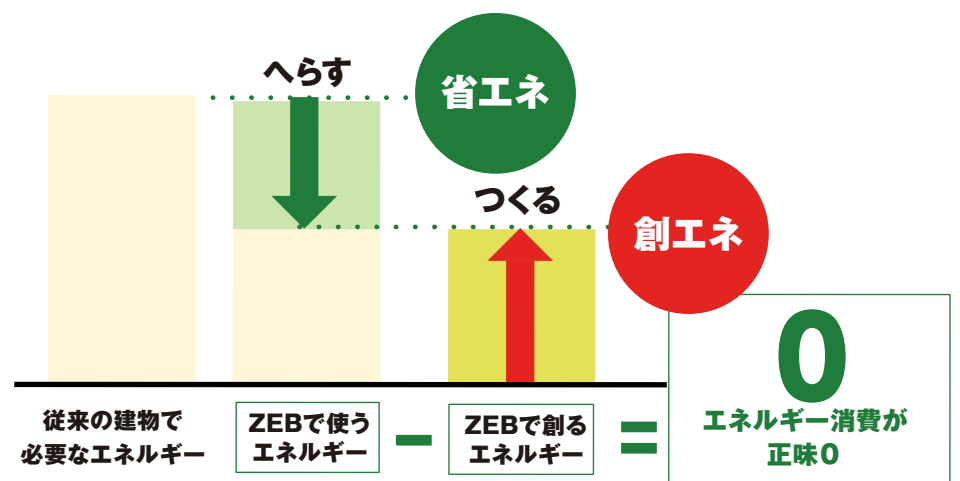


ZEBとは？

Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。省エネによって使うエネルギーを減らし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を正味(ネット)でゼロにすることができます。



ZEB化のメリット

1. 光熱費の削減

エネルギー消費量の削減に伴い、建築物の運用に係る光熱費を削減することができます。

2. 快適性・生産性の向上

自然エネルギーの適切な活用、個人の好みに配慮した空調や照明の制御などにより、省エネルギーを実現しつつ、快適性・生産性を向上させることができます。

3. 不動産価値の向上

ZEBのような環境・エネルギーに配慮した建物、他の一般的な建築物と比較して不動産としての価値の向上、街としての魅力の向上などにつなげることができます。

4. 事業継続性の向上

ZEBを実現することで、災害等の非常時において必要なエネルギー需要を削減することができ、さらに再生可能エネルギー等の活用により部分的にであってもエネルギーの自立を図ることができます。

新築じゃなくてもZEBにできるの？

既存の建物では、既にそこで働く人々や建物を利用している人々がいるため長期の改修工事が困難、既設の設備システムを大きく変えることが困難といった、新築時にはない課題が存在します。そのため、ZEBを実現するためのプランニングにおいて一定の成約があることは事実です。しかし、既存建築物の仕様等を踏まえ、ZEBを実現するためのプランニングを工夫することで、ZEB化を実現した事例も存在します。

▶ZEB改修に関する詳細はこちら(資源エネルギー庁ホームページ)
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/support/pdf/zeb_example.pdf



ZEB化実現までの流れ(一例)

作業内容等(1年目)			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
STEP 01	ZEBの基本設計	建物が備えるべき機能や設備、デザイン等を概略的にまとめて、図面化、仕様書、説明書として作成				
STEP 02	ZEB設計の事業者公募	ZEBの詳細設計を依頼する事業者を選定				
STEP 03	ZEBの詳細設計	基本設計の内容をもとに、詳細な図面や仕様書を作成				
STEP 04	ZEB認証手続き	ZEB実現には、BELは評価にてBELが0.5以下の証明が必要。				

作業内容等(2年目)			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
STEP 01	ZEB補助事業申請	補助事業の活用は、年度初め頃の補助申請が必要				
STEP 02	施工業者の公募・入札等	入札等で、施工業者を決定。入札で施工業者を決定する場合は、総合評価方式が望ましい				
STEP 03	施工	補助事業を活用する場合、単年度で完了させる必要がある				
STEP 04	竣工検査	補助事業の活用は、補助事業の執行団体による検査もある				
STEP 05	実績報告書提出	補助事業の実績報告書を作成し、補助事業の執行団体に提出				

引用：資源エネルギー庁、環境省ウェブサイト

◆建築物等のZEB化には補助制度・支援制度があります!◆

補助金

ZEB普及促進に向けた省エネルギー建築物支援事業(環境省、一部経済産業省連携事業)

- ①.新築建築物のZEB普及促進支援事業(経済産業省連携事業)
- ②.既存建築物のZEB普及促進支援事業(経済産業省連携事業)
- ③.非住宅建築物ストックの省CO2改修調査支援事業

事業スキーム(令和5年度の参考例)

- ・事業形態:間接補助事業(①② 2/3~1/4(上限 3~5億円) ③1/2(上限100万円))
- ・補助対象:地方公共団体※1、民間事業者・団体等※2

※1①②について、都道府県、指定都市、中核市及び施工時特例市を除く。

※2①②について、延べ面積において新築の場合 10,000㎡以上、既存の場合 2,000㎡以上の建築物については、民間事業者・団体等は対象外。

ZEB関連の補助金制度・支援制度について詳しく知りたい方はホームページをご覧ください。
<https://www.env.go.jp/earth/zeb/hojo/>

